

名古屋工業大学第31回技術研究発表会参加報告

三重大学 工学部 工学研究科 技術部

鈴木義和

suzumori@mach.mie-u.ac.jp

1. はじめに

平成27年9月18日（金）に名古屋工業大学にて、名古屋工業大学第31回技術研究発表会が開催された。私も参加し、発表を行ったので以下の報告をする。

2. 技術研究発表会の内容

技術研究発表会は、午前9時30分より技術部長の挨拶、講演で始まった。その後、以下の9件の技術報告発表があり、私も「二重梁型ロードセル及び引張・圧縮試験機の開発について」という題目で発表を行った。

他大学より静岡大学、鳥取大学、三重大学の参加があり、技術研究発表会が閉会后、名古屋工業大学内の施設見学を行った。

【講演】

- ・私個人の技術職員（技官）とのかかわりー牧歌的な時代から現在までー

【技術報告】

- ・基板加工機の紹介
- ・アナログASIC設計技術
- ・二重梁型ロードセル及び引張・圧縮試験機の開発について
- ・X線光電子分光装置【装置トラブルと予防対策】
- ・環境都市工学実験（地盤力学分野）の紹介ー粘土の圧縮試験ー
- ・事務用シンクライアントの運用と管理
- ・ヒヤリハット報告について
- ・こどもみらいプロジェクト出展報告 第二報
- ・鳥取大学カルマンプロジェクトの教育活動支援

3. おわりに

本技術研究発表会に参加し、多分野にわたり名古屋工業大学や他大学の技術職員の活動を知ることができた。どの技術報告においても、質疑応答ではお互いの意見を出し合い、議論を交わし有意義なものとなった。この経験を活かし、今後の技術向上に結び付けていきたいと考えている。

また、閉会後の施設見学では、名古屋工業大学の分析装置やものづくりテクノセンター等の利用や活動内容について説明して頂き、中でもキャンパス内の電子化には驚かされた。

最後に、本技術研究発表会を企画・開催して頂いた名古屋工業大学の関係者の皆様に深く感謝致します。

